

シグマ委員回核データ専門部会  
46年度第1回会合議事録

日・時 昭和46年4月23日(金) 13:15~17:15

場 所 日本原子力研究所東海研究所 C会議室

出席者(五十音順)

欽島俊吾(NAIG),	五十嵐信一(原研)
川合将義(NAIG),	金森善彦(原研)
川本忠男(住友),	神田幸則(九大)
後藤頼男(原研),	末広忠輔(東大)
田坂完二(原研),	中川庸雄(原研)
中嶋竜三(法大),	中原康明(原研)
西村和明(原研),	早瀬祐一(東電)
更田豊治郎(原研),	松延広幸(住友)
村田 徹(NAIG),	山越寿夫(船研)

特別出席 桂木 学(原研)

配布資料

- 46年度実行計画討論資料
- ファイル作りワーキンググループの構想(案)

議 事

1. BNL-NNCSC の話 (桂木)

4月の初めBNLへ行って来られた桂木氏からBNLのNNCSC(National Neutron Cross Section Center)の話聞いた。

2. 報 告 (五十嵐)

a. 45年度第4回本委員会

- この席上で、当専門部会が  
「核データ専門部会、部会長 五十嵐信一」

であることが承認された。

○ 当専門部会の今年度予算は次の通りであることが承認された。

- (1) 熱中性子散乱ワーキンググループ (後藤).... 0 万円
- (2) 核データ検索システムワーキンググループ(更田).... 70
- (3) Fast F・P. ワーキンググループ (飯島).... 140
- (4) ファイル作りワーキンググループ (松延).... 140

b. 連絡会

専門部会開催準備のため各ワーキンググループ責任者を中心とした連絡会が4月16日に開かれた。

3. 各ワーキンググループの46年度構想

a. 熱中性子散乱ワーキンググループ (後藤)

- 文献インデックスのコンピュータ化がほぼ終了している。今年度はテストランを行い、実用化する。
- ENDF/Aの熱中性子Kernelが古いので、新たに計算し入れ換える。今年度は $H_2O$ 、 $D_2O$ について行う。

b. Fast F・P. ワーキンググループ (飯島)

45年度の作業を継続する。

c. 核データ検索システムワーキンググループ (更田)

従来の目的は前年度で一応終了したと思われるのでワーキンググループは解散する。新たに次のような4つの作業を目的とするワーキンググループを提案する。

- (1) ENDF/B, KEDAK,その他の評価済みデータをNEUDADAに入れるためのプログラムの作成を行う。
- (2) いろいろなファイルのデータの比較, 検討。
- (3) NEUDADAに他のワーキンググループで集めたデータ, 作成した評価済みデータを入れる。そのためのFormatの検討。
- (4) COMFORDに関する作業。

- NEUDADAとCOMFORDの間のデータ交換
- COMFORDだけでの共鳴データの格納検索
- d. ファイル作りワーキンググループ (松延)

資料が配布された。グループを

- グループ A (重い核の評価)
- グループ B (重い核の共鳴パラメータの収集、及び評価作業のバックアップ)
- グループ C (軽中重核関係の作業)

の3つに分けて作業をする。なお、核データ研究室は各グループと密接に関連して、このワーキンググループのPromoterとしての役割りを担当する。

#### 4. 各ワーキング・グループの構想についての議論

- a. 熱中性子散乱ワーキンググループ
  - b. Fast F. P. ワーキンググループ
  - c. 核データ検索システムワーキンググループ
- } 議論なし

更田委員の提案通りで、ワーキンググループを発足させることにした。

#### d. ファイル作りワーキング・グループ

- 配布資料では、グループBがグループAのバックアップとして位置づけられている点が問題になった。検討の結果、グループBは独自に、共鳴パラメータを収集評価していくことになり、グループAの手助けは核データ研究室が行うことになった。
- グループCの各核種の割当ては次の通りである。

Fe,	Ta	...	山越
Ni,	Na	...	金森
O,	Cr	...	末広

各ワーキング・グループ間の横の連絡は連絡会で行う。各グループのメンバーはアンケートを取って決定することにした。

#### 5. 当専門部会に関連した核データ研究室の作業

特にファイル作りワーキンググループに関連して、

- NEUDADA のデータの供給をする。
- Standard cross section  $U^{238}(n, f)$  を松延, 中嶋, 神田の各委員の協力のもとに行う。

以上の作業を研究室が行う。

6. その他

- 評価済みデータのリクエストを出して欲しい。

以上